右のQRコードで
西村くにこの各種SNSに
アクセスできます！
ぜひ登録してください。

LINE　twitter　instagram（@KUNIKO_NISHIMURA）　Facebook

ご存じですか、帯状疱疹?!



帯状疱疹は、過去に水痘（水ぼうそう）に感染したことのある人が発症する病気です。水痘のウイルスは生涯にわたって体内に潜伏し、普段は悪さをしませんが、ストレスや疲れ、免疫機能の低下などで再活性化して発症します。その発症率は５０歳代から急激に増加し、８０歳までに約３人に１人が発症するといわれています。

はじめは皮膚がピリピリするような痛みが時間の経過とともに赤みを帯び、時に水痘のような発疹が広がったり、顔面神経麻痺や難聴、視力障害をきたすこともあります。また、疼痛や感覚異常が数か月から数年にわたって続く「帯状疱疹後神経痛」は、治療に長期間を要することも多く、生活の質の著しい低下が懸念されます。

最近では５０歳以上の人に対して帯状疱疹ワクチンを使用できるようになり、予防が可能になりました。しかし、高額な接種費用が課題です。

ワクチン助成と定期接種化へ

昨年１１月、西村くにこは公明党地方議会局次長として「帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書」を提案し、公明党の地方議員に呼びかけました。全国から一斉に国に対し意見書が提出され、神奈川県議会でも１２月１９日に採択されました。そして東京都では、５０歳以上を対象に接種助成を行う市区町に、費用の半分を補助する制度をスタートしました。これを受け神奈川県議会でも公明党県議団代表質問で、国の対応を待つだけではなく、本県においても補助などを含めた環境づくりに取り組むことを知事に求めたところ「国に対し早期の定期接種化を要望するとともに、予防接種の事業主体である市町村の状況や意向を確認し、接種費用の補助について検討していく」との答弁を得ることができました。



帯状疱疹勉強会を終えて
前列中央　岩田　敏氏、前列右端　西村くにこ

８月２８日、講師に熊本大学客員教授であり、予防接種推進専門協議会委員長／日本感染症医薬品協会理事長を務める岩田　敏 医学博士を招き「帯状疱疹と帯状疱疹ワクチンについて」の勉強会を開催。これには、主催した公明党神奈川県本部市民活動局のメンバーのみならず、多くの議員が会場やリモートで参加し、知識と課題を共有しました。

西村くにこは、市民活動局長として、地方議員のネットワークを活かし、帯状疱疹ワクチンの助成制度の創設と、予防接種法に基づく定期接種化の実現をめざして、全力で取り組んでまいります。

■帯状疱疹ワクチンの接種について（神奈川県ホームページより）

		乾燥弱毒性水痘ワクチン「ビケン」	乾燥組換え帯状疱疹ワクチン「シングリックス筋注用」
名　称			
種　類		生ワクチン	不活性化ワクチン
効　能		水痘（水ぼうそう）・帯状疱疹の予防	帯状疱疹の予防
効果	発症予防	50 ～ 59 歳 約 70%、60 歳以上 約 50%	50 歳以上 約 97%、70 歳以上 約 90%
	帯状疱疹後神経痛	60 歳以上 66.5%軽減	50 歳以上 100%軽減、70 歳以上 85.5%軽減
	持続性	５年程度	少なくとも 10 年間
接種対象者		50 歳以上の者	50 歳以上の者　または帯状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる 18 歳以上の者
接種方法		皮下注射	筋肉内注射
接種回数		１回	２回
価　格		8,000 円程度	20,000 ～ 30,000 円程度／１回
		帯状疱疹ワクチンは任意接種であるため、**全額自己負担**となります。 接種費用は医療機関ごとに定められていますので、各医療機関にお問い合わせください。 お住まいの市町村によっては助成を受けられる場合がありますので、各市町村 HP をご確認ください。	